

明石市総合交通計画 ～数値目標の進捗報告～

— 報告内容 —

1. 公共交通利用者数
2. 公共交通利用圏
3. コミュニティバスの収支率
4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

1. 公共交通利用者数

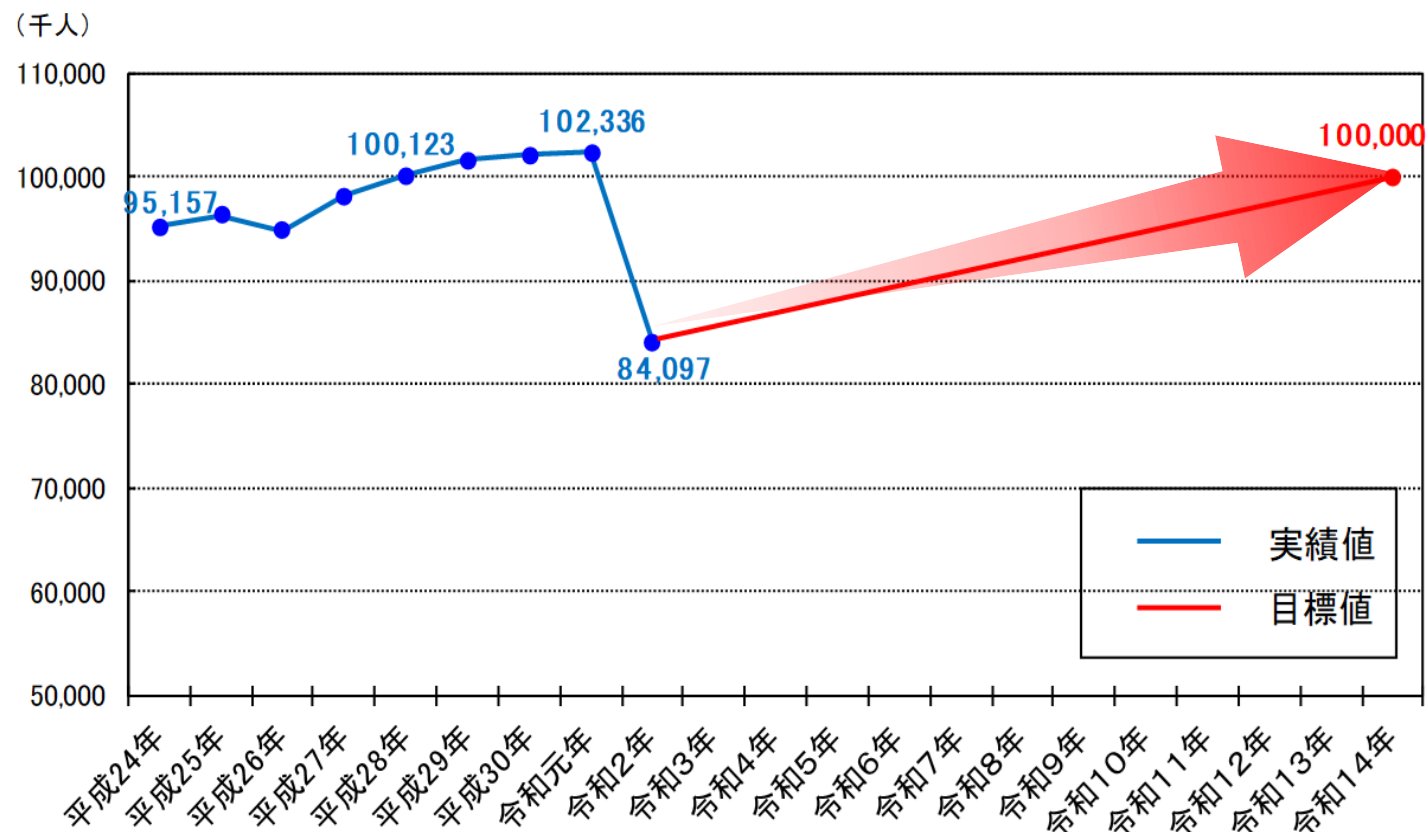
2. 公共交通利用圏

3. コミュニティバスの収支率

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

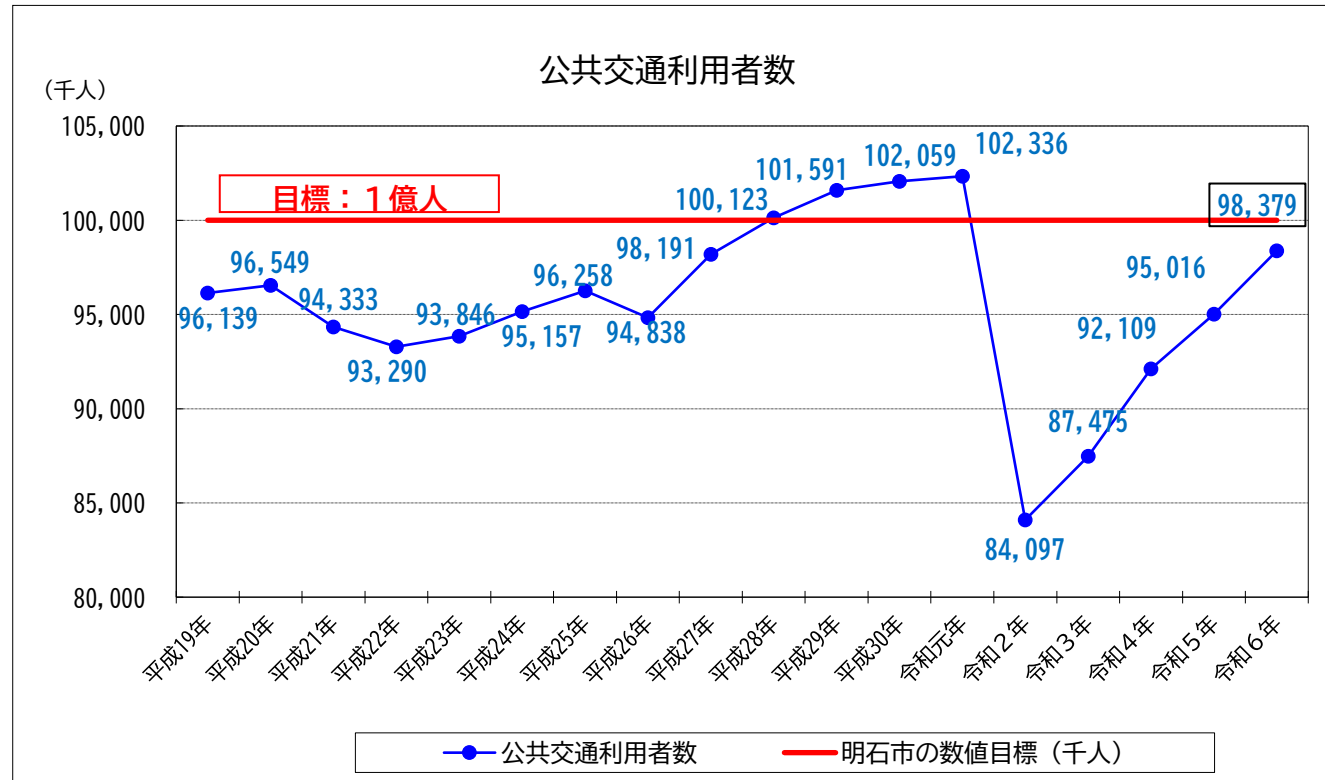
1. 公共交通利用者数

- ◆ 電車やバスなどの公共交通の活性化や維持を図り、自動車に頼らずとも円滑に移動できる交通環境づくりを進めることで、公共交通利用者数を2032年度（令和14年度）においてコロナ禍前の1億人/年まで増加させることを目標としています。



※公共交通利用者数：明石市内を運行(運航)する鉄道、バス、タクシー、海上交通の合計利用者数

1. 公共交通利用者数



年度	H19年度 (2007年度)	H24年度 (2012年度)	R4年度 (2022年度)	R6年度 (2023年度)	R14年度 (2032年度)
計画	策定	改定	改定		目標年度
利用者数	96,139千人	95,157千人	92,109千人	98,379千人	100,000千人
増減率			109.5%	103.5%	

1. 公共交通利用者数

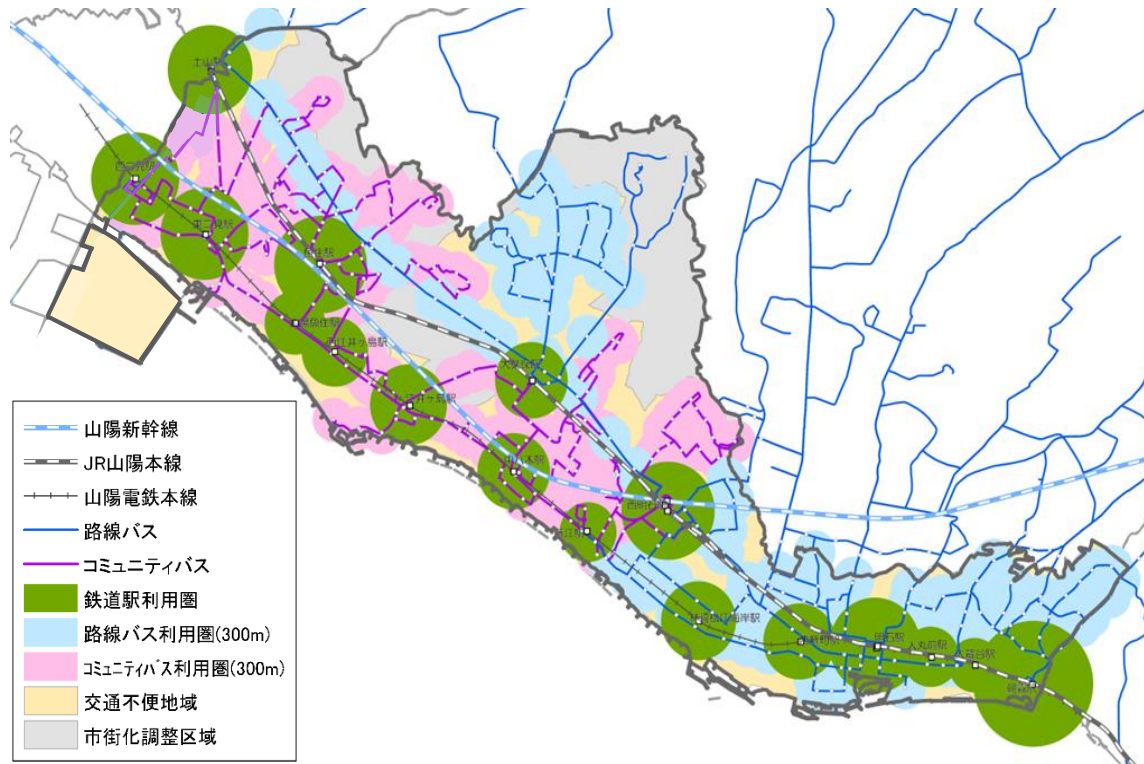
2. 公共交通利用圏

3. コミュニティバスの収支率

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

2. 公共交通利用圏

- ◆市内の交通ネットワークを面的にカバーし、誰もが公共交通機関にアクセスしやすい環境を確保するため、市街化区域内の公共交通利用圏（鉄道駅勢圏およびバス停勢圏の区域）の面積を、10年後の2032年度（令和14年度）においても90%以上に維持することを目標にします。



公共交通利用圏：鉄道駅勢圏域はH22PT調査結果をもとに鉄道駅別の徒歩利用者の平均所要時間から、徒歩速度を4km/hとして算出
 （例）明石駅⇒徒歩速度4km/h×平均所要時間9.8分＝半径650mの範囲

▶バス停勢圏域は一日の運行本数が10本以上のバス停のみ圏域を一定300mに設定（※1）

（※1）都市構造の評価に関するハンドブック参考

2. 公共交通利用圏

- ◆明石市総合交通計画を策定した平成19年度では、75%であった公共交通利用圏は、明石市営バスの移譲や明石市コミュニティバス（Tacoバス）の導入などにより、平成24年度には91.4%に増加。前回の計画改定時（令和4年度）では、91.8%でしたが、南二見（人工島）を運行するバス路線休止に伴い、令和8年4月1日時点では87.3%となっています。

年度	H19年度 (2007年度)	H24年度 (2012年度)	R4年度 (2022年度)	R8年度 (2026年度)	R14年度 (2032年度)
計画	策定	改定	改定		目標年度 (改定予定)
公共交通利用圏	75%	91.4%	91.8%	87.3%	90%以上

1. 公共交通利用者数

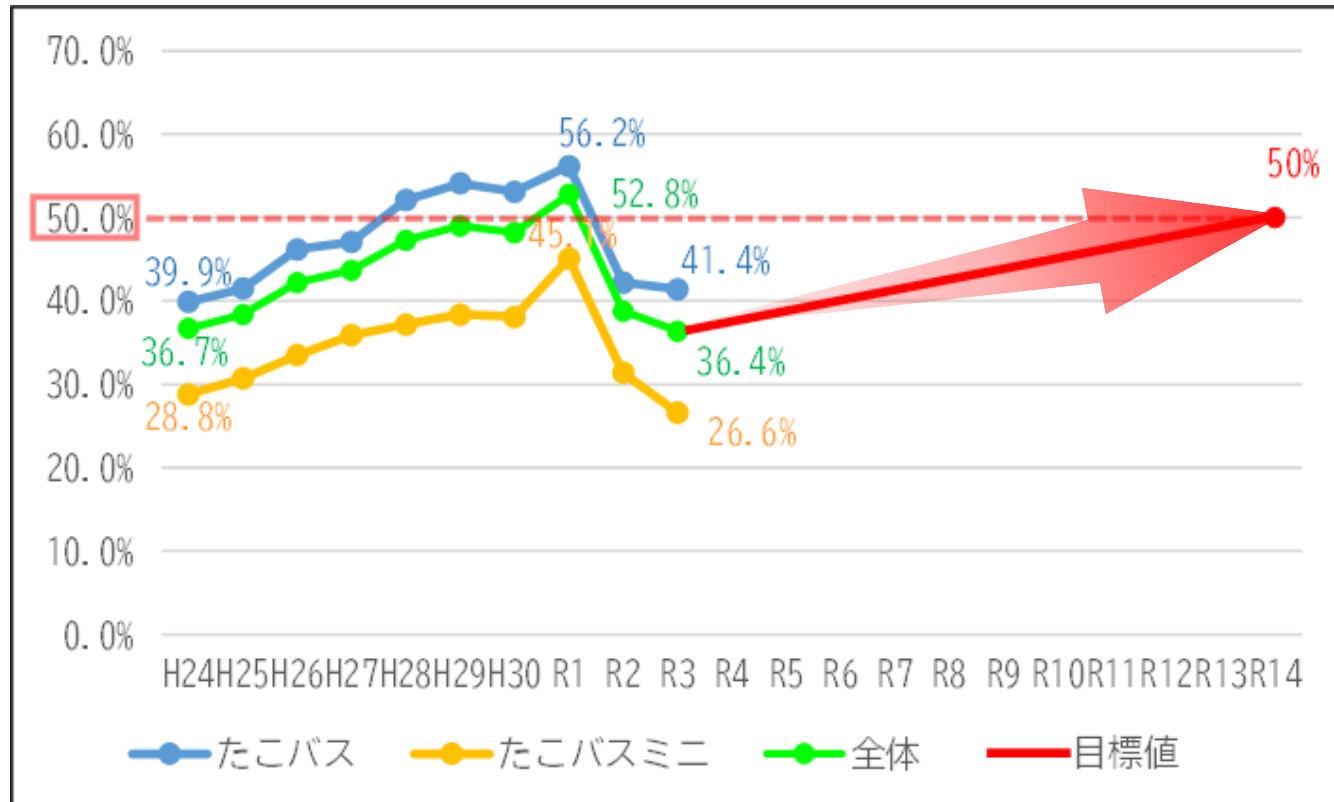
2. 公共交通利用圏

3. コミュニティバスの収支率

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

3. コミュニティバスの収支率

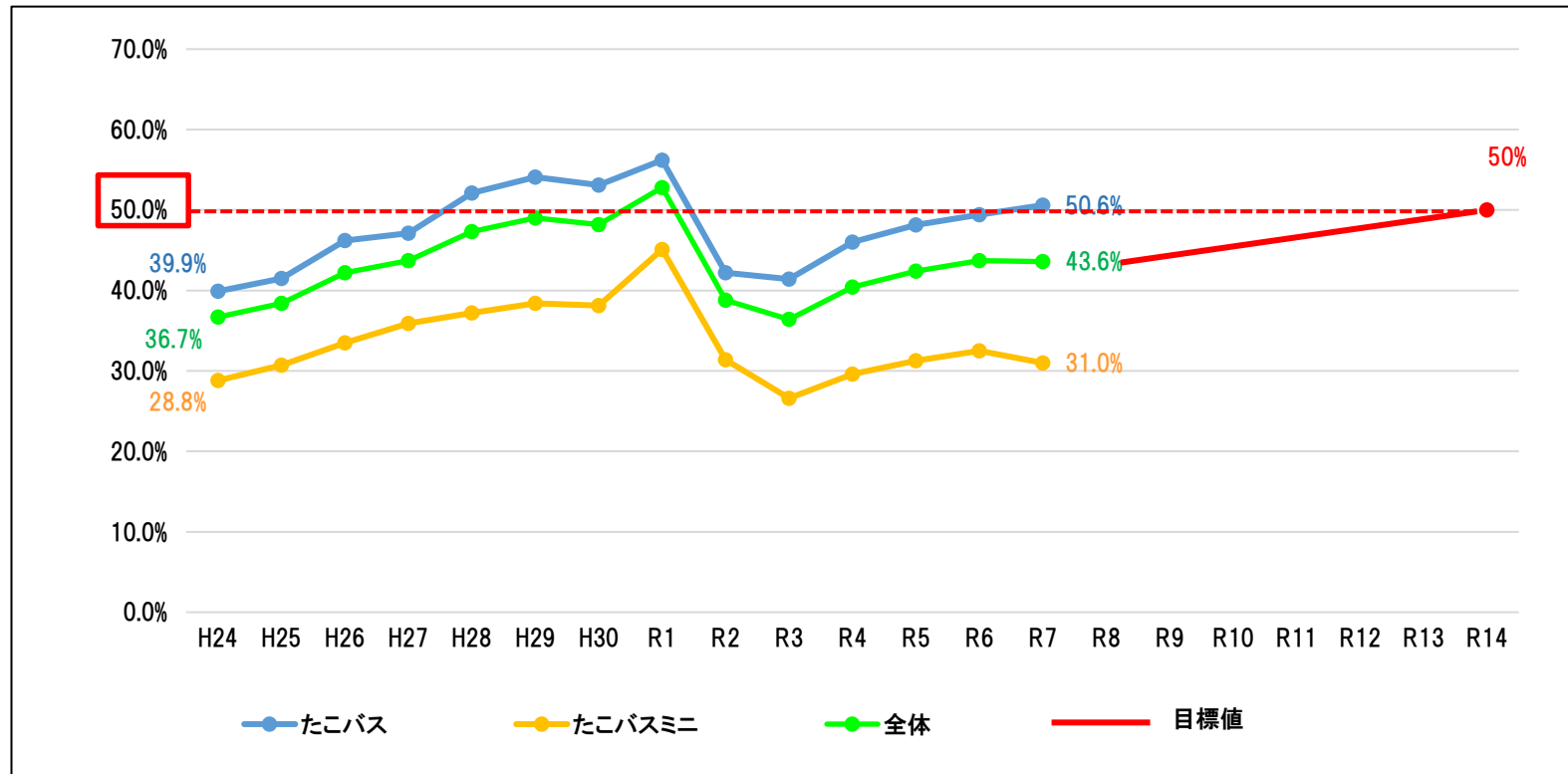
- ◆現在の交通ネットワークの一部を担っているコミュニティバスを効率的で持続可能な運営を行っていくため、10年後の2032年度（令和14年度）においてコミュニティバス全ルート平均の収支率50%を目標とします。



※みなし収支率：全利用者数が税抜き運賃を支払ったとみなした時の収支率
 95円：～平成26年3月31日
 92円：平成26年4月1日～令和元年9月31日
 90円：令和元年10月1日～

3. コミュニティバスの収支率

- ◆ コミュニティバスの全体収支率は、コロナ禍により減少した利用者数・燃料費等の運行経費増加により、計画改定時（R3年度）では36.4%でしたが、R7年度では43.6%と改善しています。



※みなし収支率：全利用者数が税抜き運賃を支払ったとみなした時の収支率
 95円：～平成26年3月31日
 92円：平成26年4月1日～令和元年9月31日
 90円：令和元年10月1日～

1. 公共交通利用者数

2. 公共交通利用圏

3. コミュニティバスの収支率

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

- ◆路線バス、コミュニティバスの運行に係る補助金（公的資金）の定量的な指標として、利用者1人あたりの公的資金投入額を10年後の2032年度（令和14年度）において増加させず維持することを目標とします。

	R3(現況値)	R14(目標値)
利用者1人あたりの 公的資金投入額※1	138円/人	維持

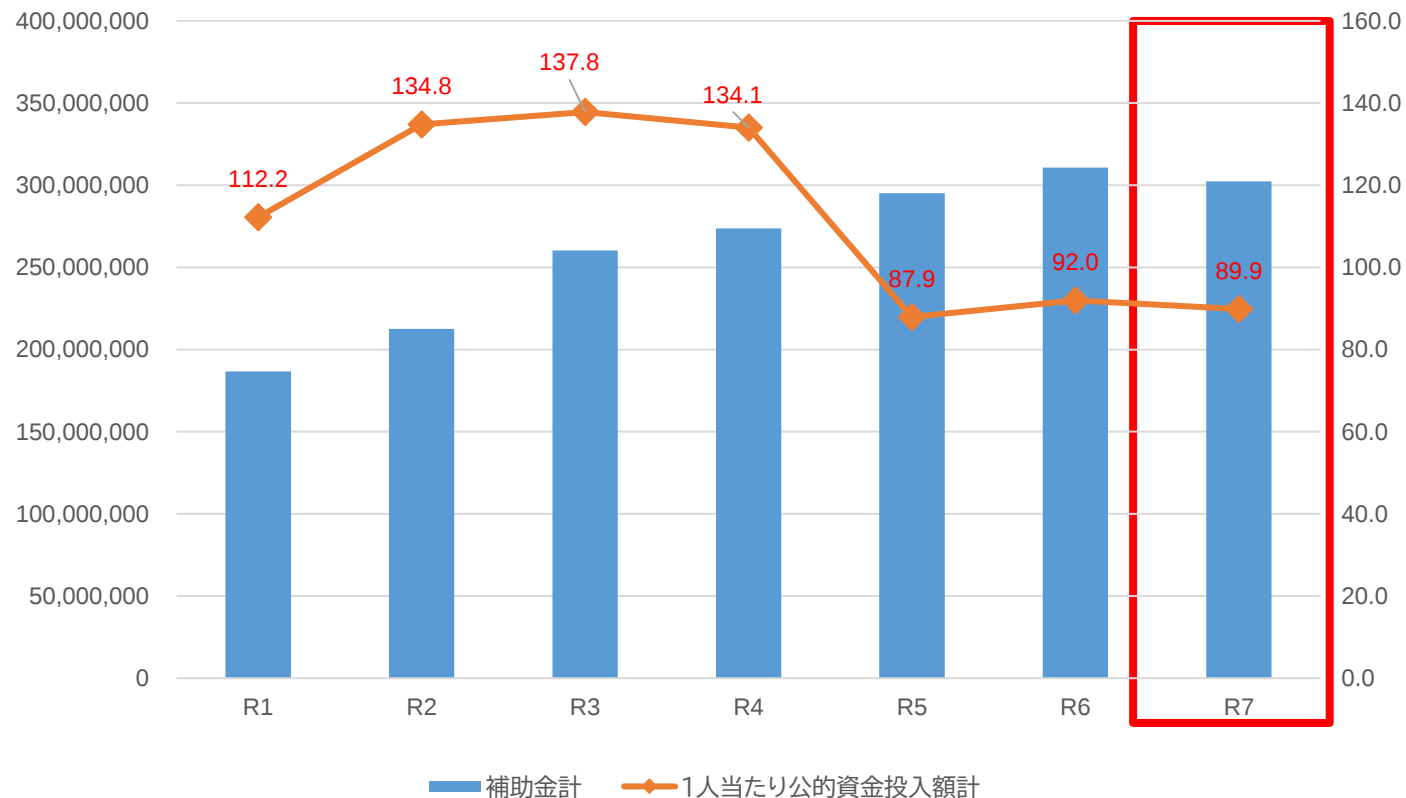
※1 利用者1人あたりの公的資金投入額 = 公的資金投入額※2 ÷ 利用者数※3

※2 公的資金投入額 = 路線バス（幹線系統・準幹線系統）運行補助金（沿線市町含む） + コミュニティバス運行補助金

※3 利用者数 = 路線バス運行補助系統の利用者数（沿線市町含む） + コミュニティバス利用者数

4. 利用者1人あたりの公的資金投入額

- ◆計画策定時（R3）では、利用者1人あたりの公的資金投入額は、137.8円でしたがR7年度では89.9円と減少傾向です。



※1 利用者1人あたりの公的資金投入額 = 公的資金投入額※2 ÷ 利用者数※3

※2 公的資金投入額 = 路線バス（幹線系統・準幹線系統）運行補助金（沿線市町含む） + コミュニティバス運行補助金

※3 利用者数 = 路線バス運行補助系統の利用者数（沿線市町含む） + コミュニティバス利用者数